

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成26年度第6回水戸市行政評価委員会
- 2 開催日時 平成26年9月29日（火）午後1時30分から午後2時15分まで
- 3 開催場所 本庁舎南側臨時庁舎中会議室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委 員  
高井美智明，吉田勉，宮内久江，大谷由美子，吉成俊勝
  - (2) 執行機関  
高橋靖，磯崎和廣，小川喜実，宮川孝光，堀野辺直，山田政則，深谷晃一，榊原可奈
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 答申書の確認
  - (2) 答申
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
  - (1) 答申書
- 9 発言の内容

○**執行機関** 本日は，お忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。  
定刻となりましたので，平成26年度第6回水戸市行政評価委員会を開会させていただきます。  
本日は答申書について確認した後，市長への答申を行う予定となっております。  
それでは，議事進行につきましては，\_\_\_委員長をお願いいたします。

○**\_\_\_委員長** 会議次第に基づき，議事を進めたいと思います。皆様の御協力をよろしくお願  
いいたします。  
それでは，会議録の公表の関係で，会議録署名人を指名させていただきます。\_\_\_委員と\_\_\_  
委員をお願いいたします。

それでは、早速、審議に入りたいと思います。答申書については、第2回から第5回までの委員会における審議結果に基づき、作成させていただきました。委員の皆様には、事前に送付させていただいておりますが、特に問題はないということでしょうか。

(異議なし)

それでは、次に答申に移りたいと思います。ここからは、一度事務局に進行を移します。

**○執行機関** これより答申に移りますが、市長を呼んでまいりますので、しばらくお待ちください。

(市長到着)

**○執行機関** それでは、\_\_\_委員長から高橋市長へ、平成26年度行政評価についての答申を行います。\_\_\_委員長よろしくお願いたします。

**○\_\_\_委員長** 平成26年8月1日付行革諮問第1号により、当委員会に諮問のありましたこのことについて、別添平成26年度行政評価に係る答申書のとおり答申いたします。

委員会においては、本年度の評価対象となった新規評価9事務事業のうち、3事務事業を「現状のまま継続」、6事務事業を「見直しの上継続」としたところです。

今回対象となった滞納整理事務9事務事業は、いずれの事務事業についても、督促、催告書の送付、差押えなどの手段を概ね適切に実施していました。

しかしながら、より一層の収納率の向上に向け、滞納整理手段の強化や改善について、積極的な意見が相次ぎました。

その結果、市税、国民健康保険税は未処理案件の対応や財産調査の強化を、また、介護保険料は所在不明者の対応を、さらに、農業集落排水施設使用料は納付誓約書の徴取の強化をそれぞれ検討するべきであるとし、1次評価の「現状のまま継続」を修正し、「見直しの上で継続(手段を改善する)」としました。

昨年度の総合評価において、見直しのうえで継続とされた継続評価については、2年目評価6事務事業のうち、2事務事業を「改善実施」、4事務事業を「改善継続」としました。

また、3年目評価は、5事務事業すべてを「改善継続」としました。

2年目評価については、いずれの事務事業においても改善に向けた取組に着手しているものの、改善が達成されたと評価できるのは、ふるさと農場及び内原くれふしの里古墳公園のみでした。

ふるさと農場については、イベントの魅力を高める取組を実施したほか、PRの強化について効果があったことから、「改善実施」とし、今年度で評価終了としました。

内原くれふしの里古墳公園については、職員の巡回などの安全対策を講じたほか、施設利用状況の調査を実施したことから、「改善実施」とし、今年度で評価終了としました。

また、改善が達成されていない残りの4事務事業については、今後も速やかな改善に向け、取組の推進を求めるものです。

3年目評価については、いずれの事務事業においても改善に向けた取組に着手しているものの、改善が達成されたとはいえないため、今後も速やかな改善に向け、取組の推進を求めるものです。

**○執行機関** それでは、市長から御挨拶を申し上げます。

○高橋市長 皆さん、こんにちは。お忙しい中、数々の御協議をいただき、また答申をいただきましてありがとうございます。委員の皆様には、行政のスピード感が至らない部分にもどかしい思いを抱きながらも、御審議いただいたのではないかなと思います。私達も、反省すべき点はきっちりと反省し、前に進めていきたいと思っております。地方にとって、厳しい行財政環境が続く中、今後多様化する市民ニーズに応えていくためには、最少の経費で最大の効果を生むという行政の基本をしっかりと進めていく必要があります。そのため、これまで数次にわたる行財政改革プランを進め、現在は、水戸市行財政改革プラン 2013 に基づき、行政改革を進めているところです。

これからの時代、税収の減少や生活保護費など社会保障関係経費の増加などがより一層進むことが予想されるため、限られた財源を有効活用し、いかにバランスよく予算配分をしていくかが重要であります。

また、水戸のまちに対して、若者から高齢者まで、あらゆる世代が、夢と希望を持てるようなまちづくりをしていくためにも、真に市民が求める行政サービスを見極めていく必要があります。

このようなことから、行政評価委員会の皆様に、市民の目線で事務事業の評価をいただきましたことは、誠に心強いものがあると考えております。

この答申を尊重して改革改善を進め、厳しい行財政状況を乗り越えていきたいと考えております。

また、最後となりましたが、皆様には、精力的な調査と御審議をいただきましたことに、重ねて厚く御礼を申し上げます。

○執行機関 それでは、市長と皆様との意見交換の時間を 15 分程度設けさせていただきたいと思っております。

(意見交換)

○執行機関 以上を持ちまして、答申を終了としたいと思います。なお、高橋市長は公務のため、ここで退席をさせていただきます。

(市長退席)

それでは、引き続き、\_\_\_委員長に進行をお願いします。

○\_\_\_委員長 皆様お疲れ様でした。今回を持ちまして、平成 26 年度行政評価委員会は終了となります。本日の議事は終了となりますが、その他事務局から何かありますでしょうか。

○執行機関 今後のスケジュールについてですが、市長を本部長とする水戸市行政改革推進本部において、3 次評価を実施し、市としての方向性を最終決定してまいります。

また、今年度の行政評価については、終了となりますが、来年度については、新たなテーマに基づいて、10 事務事業程度の新評価を行うとともに、今年度に見直しと評価されたものについて、引き続き評価を行う予定であります。

しかしながら、今回、答申の中にも進行管理の見直しが提案されましたので、今後の手法については改めて検討してまいります。皆様ありがとうございました。

それでは、平成 26 年度第 6 回行政評価委員会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、長期間にわたり、精力的に調査、審議をいただきましてありがとうございました。